

食アメニティコンテスト審査会特別賞

ほどうち
程内こんにゃくいもグループ（愛媛県内子町）

代表作品「ふるさとの^{きずな}絆こんにゃく」

程内こんにゃくいもグループは、会員のほとんどが高齢者であり、地域に伝わる地そばや地大豆を昔から作り続けてきた。特にこんにゃくは地域に伝わる種芋を植え付け、無農薬で栽培して自家用に加工していた。こうしたことから、平成 12 年に農業改良普及センターの事業で程内地区に農村高齢者活動促進事業が導入された時、皆が心を一つにして何ができるか意見を出し合った結果、遊休農地を利用したそばの共同栽培とそばの灰汁を利用したこんにゃく作りを始めることになった。また、材料のこんにゃく芋栽培にも挑戦することになった。平成 17 年には集落内の教員住宅が空き家になったため、集落で協議して農産加工体験交流施設として整備し、この施設を拠点として都市住民や若者に地域の高齢者の技を傳承しようと、こんにゃく作り体験交流を実施している。

リピーターも多く、こんにゃく作り体験のほか、体験者の要望に応じてこんにゃくや山菜、地そば、地域特産品である柿を使った料理の提供、集落内の豆腐屋さんと連携した豆腐作り体験、古代米を使ったかまどご飯炊き体験、養豚農家と連携したバーベキュー体験等のメニューがあり、幅広く活動して地域活性化につながっている。

こんにゃく作り体験は、会員がこんにゃく芋やそばの実物を見せながら、生産するときの苦労話も交えて加工方法を指導している。そばの灰汁を利用したこんにゃく作りは珍しく、エコクラブなどの環境団体からも体験要望が多い。

町内の温泉宿泊施設「オーベルジュ内子」にも食材として提供しており、「ふるさとの絆こんにゃく」として都市住民から好評を得ている。



こんにゃく加工体験交流



「ふるさとの絆こんにゃく」